

# オートベースプラス

## マツダ 41V ソウルレッド補修要領

FOR PROFESSIONAL USE ONLY

### 定義と説明

マツダ 41V ソウルレッドは、以下の通り異なる塗膜層により形成された特殊効果色です。

- ベースコート 下塗りカラー
- ベースコート エフェクト カラー
- クリアーコート

### スプレーアウトによる色の確認

正確な色合わせを行うには、数枚のスプレーアウトパネルを作成してください。色合いは、下塗りカラー及びエフェクトカラーの塗装回数により異なります。スプレーアウトパネルは以下マトリックスに従って作成します。

1. 下塗りカラーの塗装回数を上から下に順次 2, 3, 4, 5 回と塗り分けます。
2. エフェクトカラーの塗装回数を左から右へ順次 2, 3, 4, 5 回と塗り分けます。

		エフェクトカラー			
		2 回	3 回	4 回	5 回
下地カラー	2 回				
	3 回				
	4 回				
	5 回				

3. クリアーコート前のフラッシュオフタイムは 20°C/15 分。
4. フラッシュオフタイム後に、クリアーコートを 2 回シングルコートします。

これらのカラーサンプルを用いて、色合いと塗装回数を決定します。

- 各パネルには下塗りカラーとエフェクトカラーの塗装回数を必ず明記してください。

パネルは、それぞれ単品塗りしないでください。

### 下地類

推奨されるボディーフィラー及び下地類にて補修してください。

### 被塗物の前処理

#### ドライサンディング

最終番手は P500

- 最初に P360-P400 でサンディングを行い、次に P500 で仕上げてください。
- ドライサンディングのサンディングステップは 100 番手以内を推奨します。
- 下地作業の詳細につきましては TDS S8.06.02 を参照ください。



#### ウェットサンディング

最終番手は P1000

- 最初に P600-P800 でサンディングを行い、次に P1000 で仕上げてください。
- ウェットサンディングのサンディングステップは 200 番手以内を推奨します。
- 下地作業の詳細につきましては TDS S8.06.02 を参照ください。



# オートベースプラス マツダ 41V ソウルレッド補修要領

FOR PROFESSIONAL USE ONLY

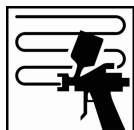


表面処理: 適切な脱脂洗浄剤にて表面の異物を除去します。

画像 1 - 補修前の脱脂及び下地処理部分



## 補修プロセス



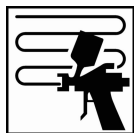
オートベースプラス ブレンディング エージェントをパネルボカシ部分に塗布、乾燥させます。

画像 2 - オートベースプラス ブレンディング エージェント

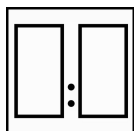


# オートベースプラス マツダ 41V ソウルレッド補修要領

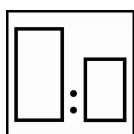
FOR PROFESSIONAL USE ONLY



確認したスプレーアウトパネルと同じ塗装回数にて下塗りカラーを塗布します。



下地カラーとエフェクトカラーを(1:1)で混合します。(Mix 1).



100 部(容量比)Mix 1  
50 部(容量比)プラスリデューサー



画像 3 – Mix 1 の段階で完全に下地部分を隠蔽させます。

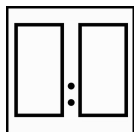


備考:一回目に塗布した個所から内側へ塗り重ねてください(アウトサイド-イン)

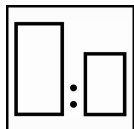
# オートベースプラス

## マツダ 41V ソウルレッド補修要領

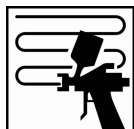
FOR PROFESSIONAL USE ONLY



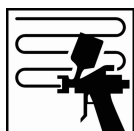
Mix 1 とエフェクトカラーを(1:1)で混合します。(Mix 2).



100 部(容量比)Mix 2  
50 部(容量比)プラス リデューサー



Mix1 のボカシ部分に 1 回塗布します。

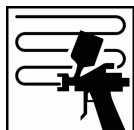


エフェクトコートを塗布します。最初は Mix 2 より若干大きく、続いてさらに大きくなるようにボカシを行ってください。

画像 4 - エフェクトコートを塗布



### クリアーコート



オートクリアー プラス HS を TDS 5.2.64.に従って塗布してください。

アクゾノーベル株式会社 自動車補修塗料事業部

東京都国立市泉 4 丁目 8 - 7

Tel : 042 - 843 - 0081